

## 拠点2 嬉泉の保育

### 1 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

2022年度の嬉泉の保育(拠点)は、法人の理念のもと、新たに保育理念として策定したミッション「子どもの命と人権を守り、子どもが周りの友達や大人と生きていく中で、その子なりに考え、子ども自身が主体となって人や状況に関わる力を育んでいく」、ビジョン「地域の中の保育と子育て支援の拠点として、巣立った子どもが人の中で互いに尊重し合いながら、受入れ合って自分らしく歩んでいける社会の実現を目指していく」ことを掲げた。

法人の経営方針である「明確なコーポレートガバナンスによる持続可能な法人経営」については、児童福祉法等の関係法令を遵守し、保育所保育指針や世田谷区保育の質ガイドラインに基づいた事業運営がなされているか自己評価を行うとしていた。3園共に、毎年行われる世田谷区による「巡回指導」を受け、その中で自園の事業運営の報告を行い、概ね適正な運営が為されていることが確認された。

### ○目標に対する実施状況

#### 1) 新たな保育理念の共有

新たに策定した保育理念(仮)については、主任以上が参加する「嬉泉の保育の会」(月1回)にて年度前半に確認し、概ね共通理解を得ることができた。次年度は年度末に完成した新たな法人理念をもとに、会議(保育会議・嬉泉の保育の会)の中で保育理念(仮)の調整を行い、完成を目指していく。可能であれば、保育理念の共有方法や今後の活用(人材育成)の仕方についても検討していきたい。

#### 2) 事業運営の方向性の検討(中期計画の策定)

保育拠点の今後の事業運営について、長期的な見通しを持って対応していくために、年度後半の「嬉泉の保育の会」にて中期計画策定のための作業を開始した。管理者と主任が協力して、第三者評価等の根拠資料の中から自園についての情報を集め、その情報が持つ意味や考えたことを会議の中で共有した。場長からSVを受け、先行して作業しているすこやか園(拠点:子どもの生活研究所)の進行状況を聞く中で、情報が不足していることに気づいたり別の角度で情報を取り扱ってみる等、主任が主体性を持って作業活動に取り組む様子が見られた。今後は集めた情報を基に、自園の強みや弱みを整理していくことになるが、次年度末までには中期計画が完成できるように取り組んでいきたい。

また、拠点運営としての話し合いが進む一方、事業所運営について場長を含めて考える場がないため、次年度は場長・園長・事務主任が集まって検討する場を数ヶ月に1回持っている。

#### 3) 保育拠点内の連携と業務効率化

保育会議では、健全な事業運営やサービスの質を確保するために、各園の運営管理や人材育成における取り組みについて情報共有し、必要な事柄の検討や意思決定を行った。年度前半は、新型コロナウイルス感染症における保護者や保育課への対応について意見交換し、その情報を文書にまとめてサイボウズで共有する等、運営管理面での助け合いや業務効率化につながった。

昨年度の会議(副園長・主任の会)から培われてきた主任同士の連携については、今年度から名称と参加メンバーを変えて始まった会議(嬉泉の保育の会)や2人一組で担当した新人研修の企画運営を経験したことで、以前に比べて連絡を取り合う姿が見られている。業務が忙しい時には互いに連絡を取ってもすれ違いが起きやすく、その結果、自園のことが中心となりやすいところがある。次年度は業務の細かいところの確認を含めて、自発的に相談し合える場の設定を主任と相談しながら考えたい。

#### 4) 感染症予防対策と職員の健康維持

新型コロナウイルス感染症については、世田谷区内の関係者にて作成されたガイドライン

「新しい日常における保育」をもとに、各園の実情に応じた感染症予防対策を引き続き行った。今年度より、区が濃厚接触者の範囲特定や休園措置を取らなくなったことで、夏の流行（第7波）時には、職員が罹患等で休む一方、子ども達は登園するという状況が生じた。区担当課には相談せず継続的に開園したが、子どもの安全に責任を持ってない状態が予見される場合には、子どもの罹患数に関わらず、早めに区担当課に連絡し、休園措置について相談することを拠点内で確認。12月のインフルエンザ流行時にもこれに似た状況が宇奈根にて発生し、区担当課に相談の結果、新型コロナウイルス感染症と同等の対応（休園措置）をしてよいとの見解を得た。年末年始を挟んだことで、それ以上の感染拡大は免れたが、感染症予防や子どもの安全確保、職員の健康維持につながる対策として選択の幅が広がった。

また、職員の休みに伴い各園単独での事業運営が難しい時には、拠点内で応援体制を組み、職員が交流研修の一環として互いの園を行き来し、他園がどのような保育や環境設定を行っているかを知る機会にするとしていたが、応援を出す園側も同時期に職員の休みが出ていることから当初予定していた1～2週間単位ではなく、数日単位での実施となった。受け手となる園側がイレギュラーな体制で動いていることから、以前に在籍したことのある職員が応援に行った。異動の経験を経て、また違った視点で保育現場を体験し、自身の振り返りにつながった様子。交流研修については、イレギュラー時ではないところで別途考えていきたい。

#### 5) 看護師会や衛生委員会への参加

今年度も引き続き、子どもの生活研究所にて開催される看護師会に参加した。毎月の定例報告に加えて、感染症予防対策としての二酸化炭素測定器の活用、行事時のアレルギー対応、歯科矯正器具の取扱い等、一事業所では情報が少なく検討が難しい事柄について共に考え、対応することができた。年度後半には、2020年に発生した大阪市の誤嚥事故を受けて、保育士や栄養士とも協力して食事介助に関連するマニュアル（テキスト）の作成に着手。今後は事故分析を行った上で、作成の目的や運用方法を明確にしていきたい。また、作成して終わりにならないように、内容を共有するための実技も含めた研修の実施、職員連携の在り方についても確認していきたい。

衛生委員会についてはオブザーバー参加ではあるが、知り得た情報を自園の職員と共有し、健康管理や職場環境（5S活動）について考える機会となった。

#### 6) 採用活動と職員の定着

採用活動については、採用係と園長が同時に閲覧できる掲示板をサイボウズ内にたて、採用についての動き、実習生や所属校とのやり取りについて、随時情報共有を行った。派遣、紹介、実習生、ボランティアで入ってきた人に戦力になってもらえるよう、現場での仕事や見学・体験等を通して法人が大切にしていることを丁寧に伝えてきた結果、派遣から非常勤への雇用変更や学生のインターンシップにつながった。また、採用係と共に参加した幾つかの就職フェアをきっかけに法人の存在を知り、採用説明会に足を運んだ人や面接につながった人もいた。一方で、職員の休職に伴う人員確保のため、人材紹介会社経由での期中採用も多く、人材紹介費用が嵩んだ。

職員の定着については、年度末で退職する職員は少なかったものの、日常的に不定愁訴を訴える職員が複数おり、宇奈根ではハラスメント相談も発生した。次年度は職員が主体的に働いているかどうか、人間関係や職場環境における心理的な安全が確保されているかどうかを確認し、育成担当者だけでなく職員全体を巻き込みながらどうしたら良い職場にしていけるかを考えていきたい。

### ○各園の課題に対する実施状況

#### 1) 宇奈根なごやか園

コロナ禍にあっても必要な研修（非常勤職員含む）や職員育成が行えるように、計画的に物事を進めていくとしていたが、7月末に5名の職員が新型コロナウイルス感染症に罹患し、以降も4名の職員が体調不良によって休職する等、年度末まで3名の常勤職員が不足となる状況が続いたことから計画を変更して研修を行った。また、職員の健康維持のため、超過勤務を活用してSVを行うことは避けた。

年度前半は、主任が日々保育に入らる中で、職員が感じている保育の難しさ、困っていることについて聞き、どう考えていったらよいかを一緒に考えるようにした。保育に自信が持ち

にくい職員に対しては個別に声を掛けて話を聞き、これは年間を通して行った。年度後半に行った人権擁護研修では、子ども主体の保育が難しく、職員側の事情や思いの強さで子どもに関わる非常勤職員がいたこともあり、例年使用しているチェックシートに加え、区担当課から配布されたシートに基づいて自己評価を行い、グループ単位で子どもとの関わりを振り返る時間を持った。該当非常勤職員については個別で話す時間を設け、子どもに与える影響や改善等について話し合うと共に、就業規則（服務規程）の確認を行った。新しい非常勤職員（児童指導員）が増えているため、次年度は非常勤職員向けの研修プログラムを考えていきたい。

厨房職員体制については年間を通して人員が整わず、職員の健康や子どもの食育を考えて、次年度から給食業務を外部委託することに決めた。当園が求める食事や食育について整理し、業者選考を行った結果、株式会社LEOCに委託することになった。この検討に伴い、建物修繕計画については進めることができなかったため次年度に持ち越しとする。

## 2) 鎌田のびやか園

年度前半、体調不良（不定愁訴）で休む職員はいたが、人員が確保されたことで保育について話し合う時間が増えた。子どもへの対応や見立てに迷った時には、園長や保育アドバイザーが保育に入り、グループ職員と一緒に子どもとの関わりについて考えてきた。

このことから、鎌田のびやか園における職員育成としての取り組みの幅が広がってきたと言える。

また、すこやか・なごやかとの保育交流等を通して、事業所の垣根を越えた職員交流が進んだこと。さらにはめばえ学園と並行利用している子どもの学園での取組等を見学すると共に職員から話を聞く等、鎌田のびやか園以外の関りをもって職員の育成が行われ始めた。

## 2 月間・年間行事等実施状況（※別紙の通り）

その他、生活習慣病予防健診・定期健診の実施状況（2園合計人数）

・生活習慣病予防健診	45名	
・定期健診	50名	合計95名

## 3 職員体制（※組織図を添付）

#### 4 職員研修

##### 1) 事業所内研修

日程	研修名	開催場所	参加者
4月1日	新人オリエンテーション	鎌田のびやか園	3名
4月6日	新人オリエンテーション	宇奈根なごやか園	2名
4月	防災教育（新人対象）	宇奈根なごやか園	2名
4月	記録の書き方（新人対象）	鎌田のびやか園	3名
4月27日	防災教育（新人対象）	鎌田のびやか園分園	1名
4～6月	職員のおてびき読み合わせ	鎌田のびやか園	3名
5月	嘔吐処理講習	鎌田のびやか園	3名
5月	ヒヤリハット周知掲示	鎌田のびやか園	全職員
6月	児童票の書き方	鎌田のびやか園	3名
6月22日	新人講習	宇奈根なごやか園	2名
6月2～9日	熱中症予防	宇奈根なごやか園	29名
6月	職員のおてびき読み合わせ	宇奈根なごやか園	2名
6月3～9日	救命救急講習	宇奈根なごやか園	29名
7月2日	新人フォローアップ研修①（拠点）	子研	15名
7月	心肺蘇生研修	鎌田のびやか園	3名
7月	児童票フォローアップ	鎌田のびやか園	3名
7月27日	熱中症勉強会	鎌田のびやか園分園	7名
7月27～31日	心肺蘇生勉強会	鎌田のびやか園	4名
7月27～31日	心肺蘇生勉強会	鎌田のびやか園分園	9名
8月24日	事故報告書集計掲示周知	鎌田のびやか園分園	10名
10月26日	対応基準チェックシート実施	鎌田のびやか園分園	15名
10月	動作法研修	めばえ学園	1名
9月～11月	衛生講習	宇奈根なごやか園	31名
11月30日	事故報告書集計掲示周知	鎌田のびやか園分園	8名
11月30日	第1回対応基準チェックシート集計実施	鎌田のびやか園分園	15名
12月6日	嘔吐処理講習	宇奈根なごやか園	32名
12月28日	対応基準チェックシート集計結果フィードバック	鎌田のびやか園分園	8名
12～1月	窒息講習	鎌田のびやか園	全職員
1月7日	新人フォローアップ研修①（拠点）	子研	15名
2月10日	第2回対応基準チェックシート集計実施	鎌田のびやか園分園	14名
2月22日	対応基準チェックシート集計結果フィードバック	鎌田のびやか園分園	7名
3月29日	てんかん勉強会	鎌田のびやか園分園	8名

##### 2) 拠点内研修

職員が子どもとの関わりの中で『その子らしさ』への気づきを得、他職員との対話を通して理解が深められるようにするために、管理者は昨年度に引き続き、それぞれの強みを活かしながら保育拠点内を横断的に行き来している。

##### ①グループSV研修

- ・主任以上が参加する「嬉泉の保育の会」（月1回）では、年度前半に保育理念（仮）の確認、年度後半に中期計画策定のための作業を実施した。先に述べたように、場長からのSVを受けながら、主任が主体性を持って取り組むことができた。次年度も継続していく。
- ・主任2名と園長1名がチームを組み、研修の企画を担当する新人フォローアップ研修は、年間2回（7、2月）実施した。研修前後で場長等のSVを受け、研修の企画運営を通して新人育成について考えたり、法人が大切にしていることを確認する機会となった。研修当日は、主任以上が新人職員とコミュニケーションをはかり、法人が大切にしていることを言葉にして伝える良い機会となった。次年度は、新人職員だけでなく、どの階層に焦点

を当てて研修を企画していくかを考えるところから主任と取り組んでいきたい。

## ②交流研修（サッカー教室、D I Y活動）

- ・サッカー教室は、5歳児クラスの子どもの運動機能や神経系の発達を育む活動として、また子どもの主体性を育む保育の在り方を伝えていくことを目的として継続的に実施。感染症や各園の事情によって中止になることがあっても、概ね週1回行うことができた。11月には昨年度に引き続き、3園総当たり戦のKカップを開催した。（担当：坂田）
- ・D I Y活動は、その活動を通して子どもの見立て、保育内容や環境の設定、保育者としての姿勢や関わり方について学ぶことを目的とし、概ね月1～2回実施することができた。また、D I Y活動から調理活動へと保育が展開する様子も見られた。（担当：稲垣）
- ・両活動を継続する中で、秋頃には5歳児クラスの子ども同士の食事会やサッカー交流試合（すこやか園、鎌田のびやか園）、他園での取り組みや保育を知ることを目的とした5歳児クラス担当職員の交換研修といった交流が増えた。この情報を得て、年度後半からは宇奈根なごやか園の子どもも交流試合に加わるようになった。子ども達は概ね同じ小学校に進学するため、やること自体が目的化しないように注意する必要はあるが、次年度もフットワーク軽く各園が交流し、関係性や活動を広げていきたい。
- ・園長は直属ではない職員と話す中で、職員が自身の考えを整理する手助けをしたり、職員の子どもへの関わりを認めたりすることで、仕事への意欲や自信につながるよう支援を行った。次年度も継続していきたい。

## 3) 外部研修

日程	研修名	開催場所	参加者
5月20日	幼児教育研修ZOOM①	鎌田のびやか園	1名
5月24日	なぜ食育が必要？給食施設で取り組むべきこと (特定求職施設講演会)	三茶しゃれなあど	1名
5月25日	乳幼児教育支援センター研修 発達と保育	鎌田分園ZOOM	1名
5月26日	乳幼児教育支援センター研修 園評価研修（基礎）	鎌田分園ZOOM	1名
5月27日	P E A R Sプロバイダーコース	浜松町	1名
5月31日	キャリアアップ 幼児教育	鎌田分園ZOOM	1名
6月1日	乳児保育eラーニング研修（6/1-7/31）	鎌田のびやか園	1名
6月2日	B L Sプロバイダーコース	東京トレーニングラボ	1名
6月3日	P E A R Sプロバイダーコース	東京トレーニングラボ	1名
6月20日	幼児教育研修ZOOM②	鎌田のびやか園	1名
6月21日	2歳児保育	鎌田分園ZOOM	1名
6月22日	0歳児保育	鎌田分園ZOOM	1名
6月22日	わらべうた	鎌田分園ZOOM	1名
6月28日	キャリアアップ 幼児教育	鎌田分園ZOOM	1名
6月30日	障害児保育eラーニング受講（6/30-8/31）	鎌田のびやか園	1名
7月1日	リスクマネジメント研修	三軒茶屋	1名
7月4日	乳幼児教育支援センター研修 保護者支援	教育総合センター	1名
7月7日	子どもの人権研修	鎌田分園ZOOM	1名
7月8日	キャリアアップ 障害児保育	鎌田分園ZOOM	1名
7月11日	キャリアアップ研修（マネジメント）8/29/20	宇奈根ZOOM	1名
7月19日	幼児教育教育ZOOM③	鎌田ZOOM	1名
7月21日	初任者研修	教育総合センター	1名
7月26日	キャリアアップ 幼児教育	鎌田分園ZOOM	1名
7月28日	キャリアアップ 乳児保育	三茶しゃれなあど	1名
7月28日	乳児保育1回目（乳幼児教育支援センター主催）	三茶しゃれなあど	1名
7月29日	キャリアアップ マネジメント	鎌田分園ZOOM	1名

8月1日	幼児教育1回目(乳幼児教育支援センター主催)	三茶しゃれなあど	1	名
8月1日	保護者支援・子育て支援eラーニング研修	鎌田のびやか園	1	名
8月15日16日	東社協キャリアアップ研修(保護者支援)	宇奈根ZOOM	1	名
8月19日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名
8月23日24日	乳幼児保健、育児支援	広尾	1	名
8月24日25日	東社協キャリアアップ(幼児教育)	宇奈根ZOOM	1	名
8月25日	乳幼児教育支援センター研修 発達と保育	鎌田分園ZOOM	1	名
8月26日	乳児保育鎌田分園ZOOM	鎌田ZOOM	1	名
8月30日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名
8/31, 9/1	東社協キャリアアップ(乳児教育)	宇奈根ZOOM	1	名
9月2日	キャリアアップ 保健衛生・安全対策	市ヶ谷	1	名
9月5日	幼児教育研修ZOOM④⇒欠席	鎌田ZOOM	1	名
9月8日	乳児保育研修	三茶しゃれなあど	1	名
9月9日	幼児教育	鎌田分園ZOOM	1	名
9月16日	上級救命講習再講習	成城消防署	1	名
9月26, 27日	キャリアアップ 保健衛生・安全対策	市ヶ谷	1	名
9月29日	障害児保育鎌田分園ZOOM	鎌田ZOOM	1	名
9月23日	「保健衛生管理講習会」	宇奈根ZOOM	1	名
9月23日	「食品衛生管理講習会」	宇奈根ZOOM	2	名
9月26日	児童福祉研修	梅が丘パークホール	1	名
10月5日	幼児教育⑤	北沢タウンホール	1	名
10月17日	保護者支援・子育て支援鎌田分園ZOOM	鎌田ZOOM	1	名
10月25日	障害児保育研修	北沢タウンホール	1	名
10月	レゾエミリア研修	鎌田ZOOM	1	名
10月14日	キャリアアップ 幼児教育	三茶しゃれなあど	1	名
10月26日	世田谷区看護師研修	成城ホール	1	名
10月31日	保護者支援	三茶しゃれなあど	1	名
11月4日	キャリアアップ 障害児保育	北沢タウンホール	1	名
11月14日	保護者支援・子育て支援	北沢タウンホール	1	名
11月15日	幼児教育2回目(乳幼児教育支援センター主催)	教育総合センター	1	名
11月24日	保護者支援 キャリアアップ研修1回目	鎌田のびやか園	1	名
11月24日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名
11月25, 27日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名
11月29日	乳児保育	教育総合センター	1	名
11月29日	乳児保育2回目(乳幼児教育支援センター主催)	教育総合センター	1	名
12月2日	世田谷区要児童支援砦地域協議会	成城ホール	2	名
12月8日	保護者支援 キャリアアップ研修2回目 集合研修	北沢タウンホール	1	名
12月8日	キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	北沢タウンホール	1	名
12月12日	乳幼児教育支援センター研修 発達と保育	教育総合センター	1	名
12月27日	乳児保育 キャリアアップ研修 eラーニング	鎌田のびやか園	1	名
1月3日	子育て支援 キャリアアップ研修 eラーニング	鎌田のびやか園	1	名
1月12日	キャリアアップ 食育・アレルギー	立川	1	名
1月13日	区民間保育園連盟BCP研修(入門編)	宇奈根ZOOM	1	名
1月16, 17日	キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	鎌田分園ZOOM	1	名
1月21日	キャリアアップ 食育・アレルギー	立川	1	名
1月26日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名

1月26日	保育実践フォーラム	宇奈根ZOOM	1	名
1月23, 26日	キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	鎌田分園ZOOM	1	名
1月29日	上級救命講習	成城消防署	1	名
2月4, 8日	キャリアアップ 乳児保育	鎌田分園ZOOM	1	名
2月7日	乳児保育 キャリアアップ 研修	鎌田ZOOM	1	名
2月7日	子育て支援 キャリアアップ 研修	鎌田ZOOM	1	名
2月9日	特定給食施設講習会		1	名
3月13, 14日	キャリアアップ 保護者支援・子育て支援	本郷	1	名
3月23日	保育園における看護師メンタルケア	宇奈根ZOOM	1	名
3月23日	保育園における看護師メンタルケア	鎌田ZOOM	1	名

## 5 実習生等の受け入れ（2園合計人数）

- 1) 見学者（入園希望者） 131名
- 2) 夏季アルバイト（学生） 1名
- 3) ボランティア（学生） 14名
- 4) 職場体験（学生） 2名
- 5) 実習生 総数 5名
  - ・東京都市大学 2名
  - ・洗足こども短期大学 2名
  - ・子ども教育宝仙大学 1名

## 6 委員会活動

災害対策委員会においては、水害時に代替保育を実施する場所として世田谷区より提示されている公立保育園では距離的に遠いと判断し、鎌田のびやか園分園にてこれを実施することを保育会議内で確認した。具体的な対応については検討できなかったため、次年度実施していく。

事業継続計画の策定研修が、世田谷区民間保育園連盟にて始まりこれに参加した。今年度は策定の必要性についての講義を受け、次年度は区担当課の意向を確認の上で、実際の策定（改訂）作業に入る予定。

事故防止、情報セキュリティ、苦情解決、虐待防止（人権擁護）については、各園で係をおき研修等を行った。また、児童福祉法等の改正を受け、保育所等については、次年度4月1日より安全に関する事項についての計画（安全計画）の策定が義務付けられた。次年度は策定した「安全計画」に基づき、事業所運営や職員研修等を実施していく。

12月に宇奈根で発生したハラスメント事案については、ハラスメント委員会により「職員のコミュニケーションや職場環境に課題あり」と判断され、法人の協力のもとハラスメント研修を行った。これについて保育会議内で情報共有し、発生防止に向けて各園取り組むよう確認がなされた。

## 7 その他（建物改修、設備・備品等購入等）

- 1) 宇奈根なごやか園
  - ・防犯カメラのリニューアル工事（機器類の交換）
  - ・外壁タイルの打診調査に伴うレンガの交換工事（4個分）
  - ・学校110番の設置工事
  - ・厨房食洗機の購入（リース）
  - ・網戸の設置を予定（テラス側引戸）→令和4年度新型コロナウイルス感染症対策経費
  - ・パソコン購入（リース）
- 2) 鎌田のびやか園
  - ・園庭の芝生化

## 別紙（事業報告書関係）

## 年間行事等実施状況

	行事				会議等(外部)		会議等(内部)	
	日	内容(なごやか)	日	内容(のびやか)	日	内容	日	内容
4月	1	入園を祝う会(新入園児.保護者)		入園の集い(新入園児.保護者)	11	世田谷区園長会	1 6 14 19 26	辞令交付式 保育会議 情報連絡会 経営会議・園長会 嬉泉の保育の会
5月						世田谷区園長会	11 12 24 25	保育会議 情報連絡会 嬉泉の保育の会 経営会議
6月					2 30	世田谷区園長会 世田谷区園長会(7月分)	1 9 15 21	保育会議 情報連絡会 経営会議・園長会 嬉泉の保育の会
7月	7 22	七夕 全園児健診 前期保護者会(0~3歳児Gr.) →4、5歳児Gr.は感染症流行の為、 次月に延期		七夕	7 26	砧地域保育ネット→中止 砧地域保育ネット	2 6 11 20 26	新人フォローアップ研修 保育会議 情報連絡会 経営会議 嬉泉の保育の会
8月		前期保護者会(4、5歳児Gr.)					3 4 17 23	保育会議 情報連絡会 経営会議 嬉泉の保育の会
9月	1	引継ぎ訓練			5	世田谷区園長会	7 8 14 27	保育会議 情報連絡会 経営会議 嬉泉の保育の会→中期計画策定事務局会議に変更
10月	1 5 28	なごやか広場(4.5歳児.保護者) →Gr.単位、入替制 稲刈り(5歳児Gr.) お楽しみ会(5歳児Gr.)		稲刈り(5歳)	12 19	世田谷区園長会 砧地域保育ネット(保育士対象)	6 12 13 19 25	保育会議 計画会議(中間) 情報連絡会 経営会議・園長会 嬉泉の保育の会→中止
11月		遠足(4歳児) 遠足(3歳児)			9 14	砧地域保育ネット(保育士対象) 世田谷区園長会	2 10	保育会議 情報連絡会



	11 25	K-C u p (5歳児Gr.)					16 22	経営会議 嬉泉の保育の会
12月	2 16	全園児健診 クリスマス会		クリスマス会	1 2	世田谷区園長会 世田谷区要保護児童支援砦地域協議 会	7 8 13 21 27	保育会議 情報連絡会 臨時園長会 経営会議 嬉泉の保育の会
1月		後期保護者会			5 20	世田谷区園長会 砦地域保育ネット	4 7 12 18 24 25	保育会議 新人フォローアップ研修 情報連絡会 臨時経営会議 嬉泉の保育の会 経営会議・園長会
2月	3	節分		節分	13	世田谷区園長会	1 8 9 15 18 22 28	保育会議 経営会議 (人事調整①) 情報連絡会、計画会議 経営会議・園長会 全体職員研修 (まとめ) 経営会議 (人事調整②) 嬉泉の保育の会
3月	3 4 9	ひな祭り 卒園式(5歳児) お別れ遠足(5歳児)		ひな祭り 卒園式 (本園) 進級式 (分園) 進級式 (本園)	1	世田谷区園長会	1 8 9 15 18 28	保育会議 経営会議 (人事調整③) 情報連絡会 経営会議 新人研修・全体職員研修 (そなえ) 嬉泉の保育の会
備考	※誕生会、身体測定、避難訓練 (月1回) ※乳児健診 (月2回) ※全園児健診 (年2回)				※職員・厨房・離乳食会議 (各月1回)			

※世田谷区園長会…例年、8月を除く月1回実施。感染症予防対策のため、2～3地域に分けての開催となった。

※砦地域園長会は、感染症流行時期により、対面もしくはZOOMでの開催となった。(世田谷区園長会と概ね同日の実施)

※要保護支援砦地域協議会…例年は、年2回実施。

事業拠点組織図 (嬉泉の保育)

